

科目名 (科目番号)	公衆衛生学 (111161)	教員名 横山 博子	学科等	医療技術	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	2	
			オフィスアワー		火・3	B322研究室	
授業概要	公衆衛生学とは「社会における組織的な働きかけにより、疾病を予防し、寿命を延ばし、身体的・精神的機能を増進させる科学であり技術である」と定義されている。公衆衛生学は保健学の出発点ともいえる学問であり、その基本的技術論や方法論について学習し、年齢階層や社会的機能集団の各次元でそれぞれの特性に合わせた視点から学ぶ。具体的には各種医療統計から各種疾病予防のための社会政策とその仕組み、公害防止対策、産業保健などについて学ぶ。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	公衆衛生・健康・予防医学	公衆衛生の歴史、健康の概念、予防医学の分類、WHOについて理解する。				
	2	人口(静態・動態)	人口論・人口静態統計・人口動態統計・人口ピラミッドについて理解する。				
	3	疫学	疫学的方法論(相対危険度・寄与危険度)スクリーニングについて理解する。				
	4	感染症と予防(1)	感染症総論(感染症法・消毒、滅菌・流行状態)について理解する。				
	5	感染症と予防(2)	感染症各論(院内感染・人獣共通感染症・予防接種)について理解する。				
	6	環境衛生	空気環境(空気・温熱)について理解する。				
	7	環境衛生・公害	水質環境、廃棄物、公害(大気汚染・水質汚濁・騒音)について理解する。				
	8	食品衛生	栄養、食中毒について理解する。				
	9	母子保健	周産期死亡、新生児死亡、乳児死亡、妊産婦死亡について理解する。				
	10	成人保健	生活習慣病、老人保健について理解する。				
	11	学校保健	学校感染症、学校給食、学校安全について理解する。				
	12	精神保健	精神病、麻薬中毒、アルコール依存症、自殺について理解する。				
	13	産業保健	業務上疾病(職業病)について理解する。				
	14	衛生統計	統計の基礎、応用、医療統計について理解する。				
	15	衛生行政・衛生法規	衛生行政、社会保障、社会福祉について理解する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(80%)＋小テスト(20%)						
教科書	シンプル衛生公衆衛生学2019		鈴木庄亮監修 小山洋・辻一郎 編		南江堂		
参考図書	国民衛生の動向		厚生労働統計協会				
教員からのメッセージ	最新の統計数値に注目し、ニュース等に関心を持ち、講義に臨んで下さい。						